

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 30日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 愛知県刈谷市一里山町金山100番地

氏名 トヨタ車体株式会社

代表取締役 松尾 勝博

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0566-36-8847

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場
事業場の所在地	愛知県豊田市吉原町紙藤池25番地
事業の種類	31：輸送用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

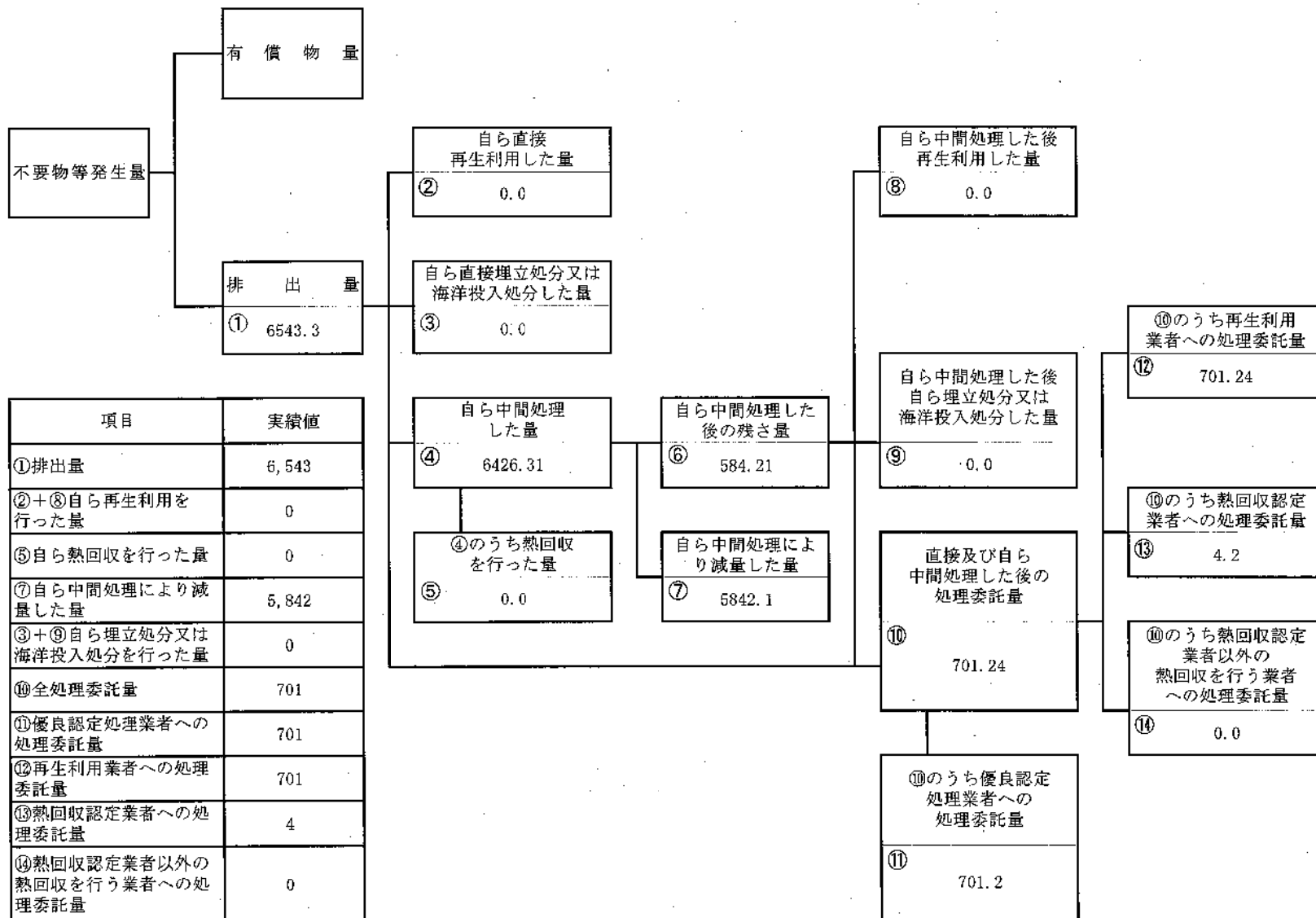
項目	目標値	項目	目標値
排出量	11,267 t	全処理委託量	2,960 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2,959 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,960 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8,307 t	認定熱回収業者への処理委託量	608 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

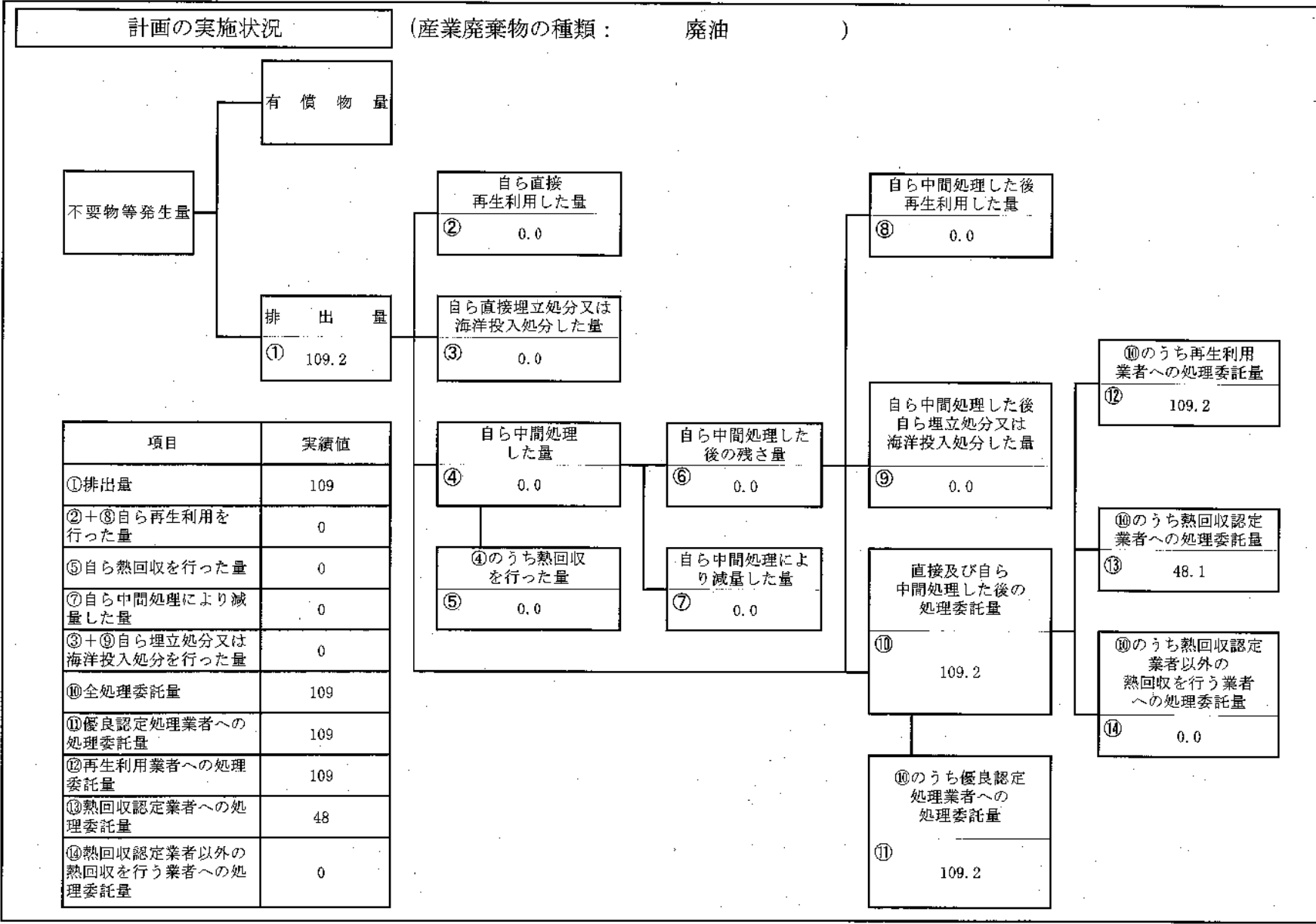
※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

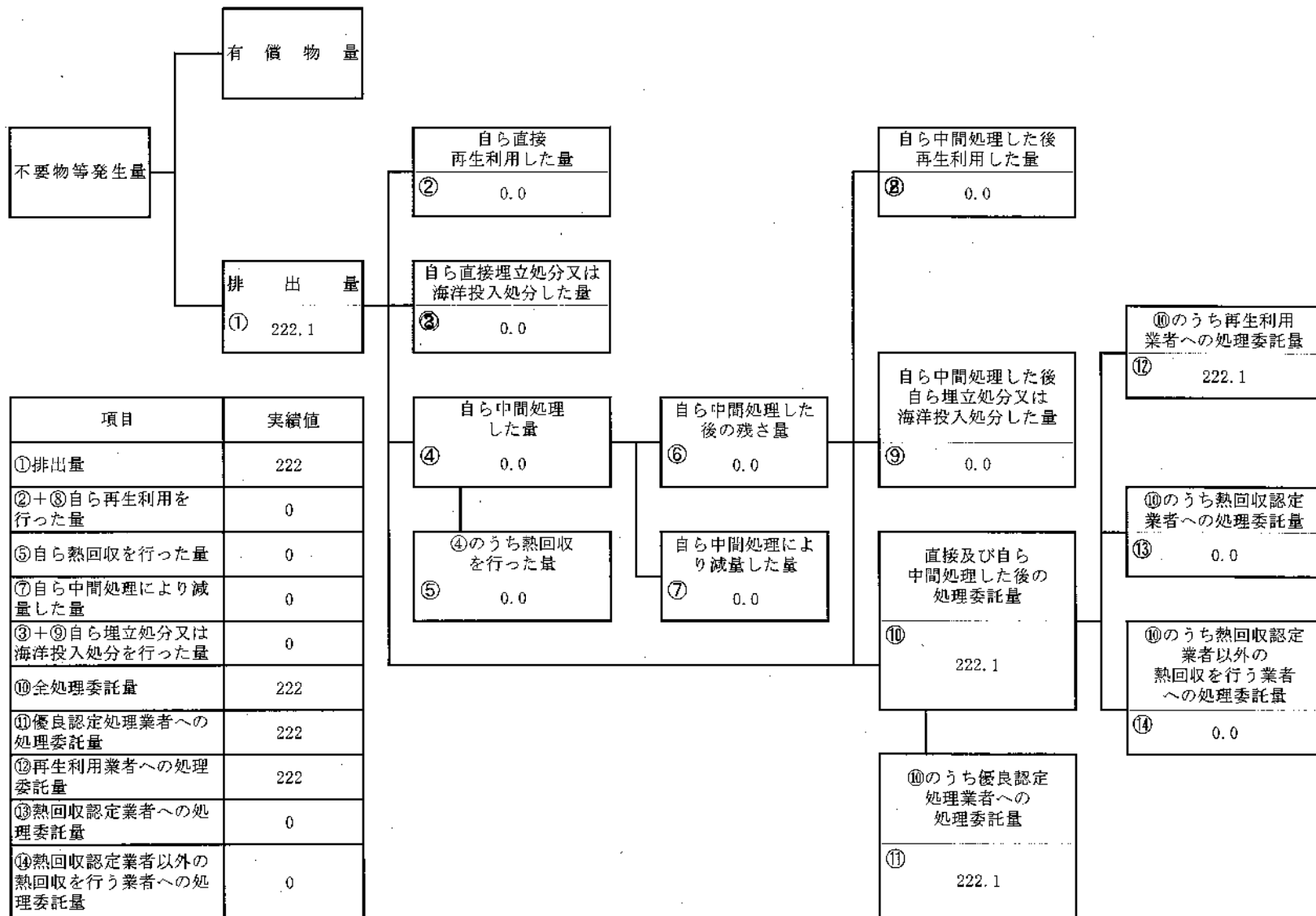
(産業廃棄物の種類: 汚泥)





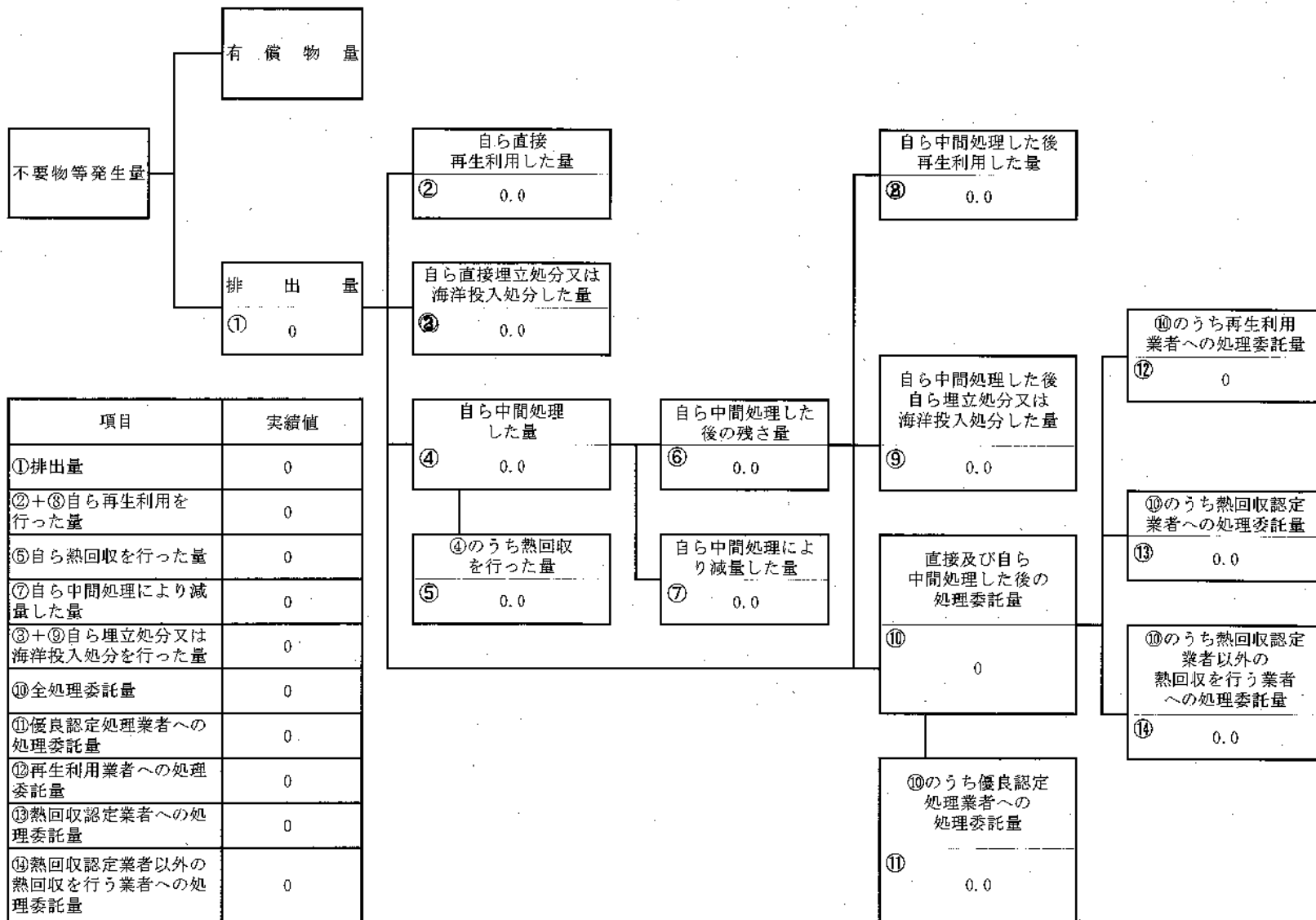
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃酸)



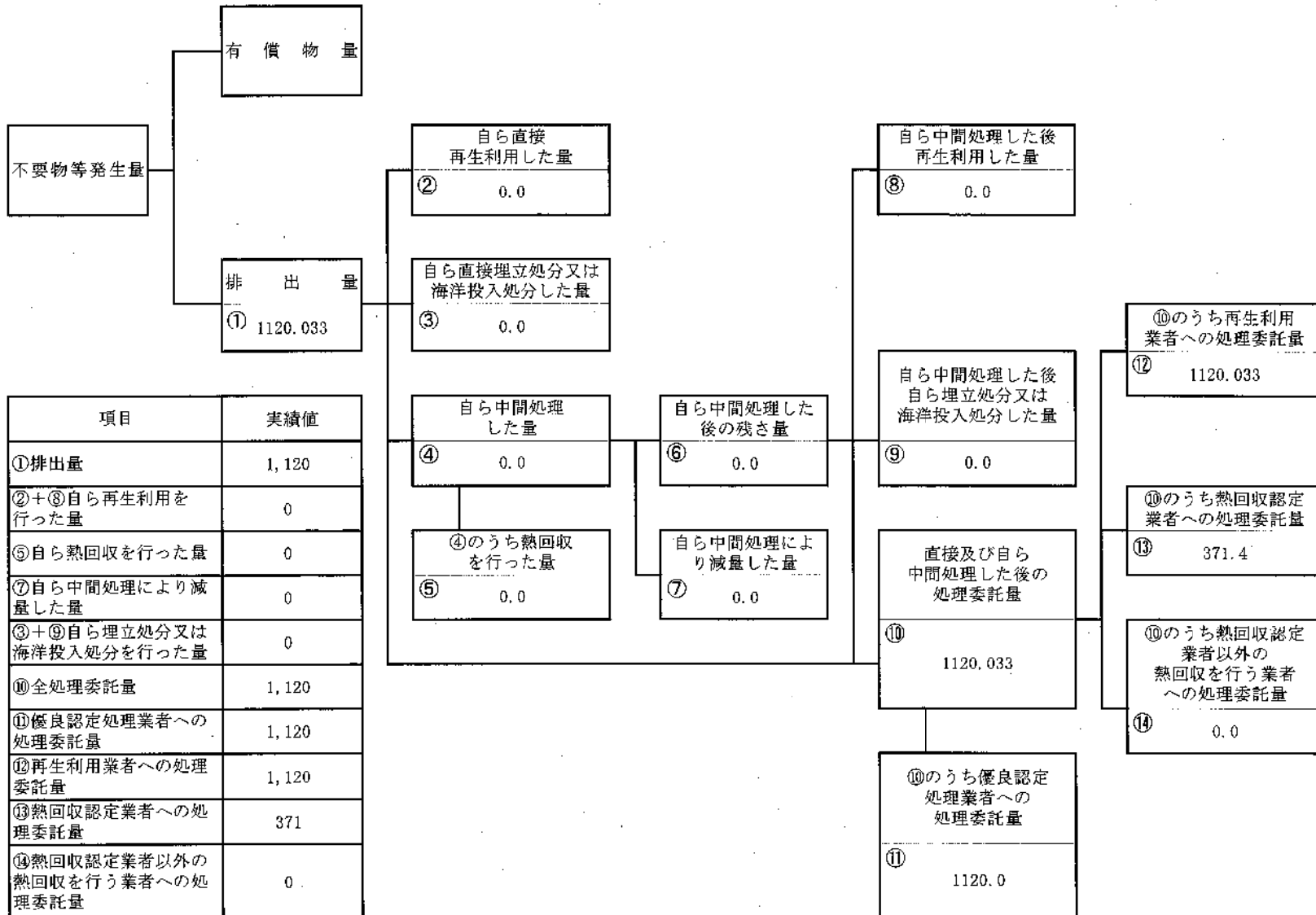
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)



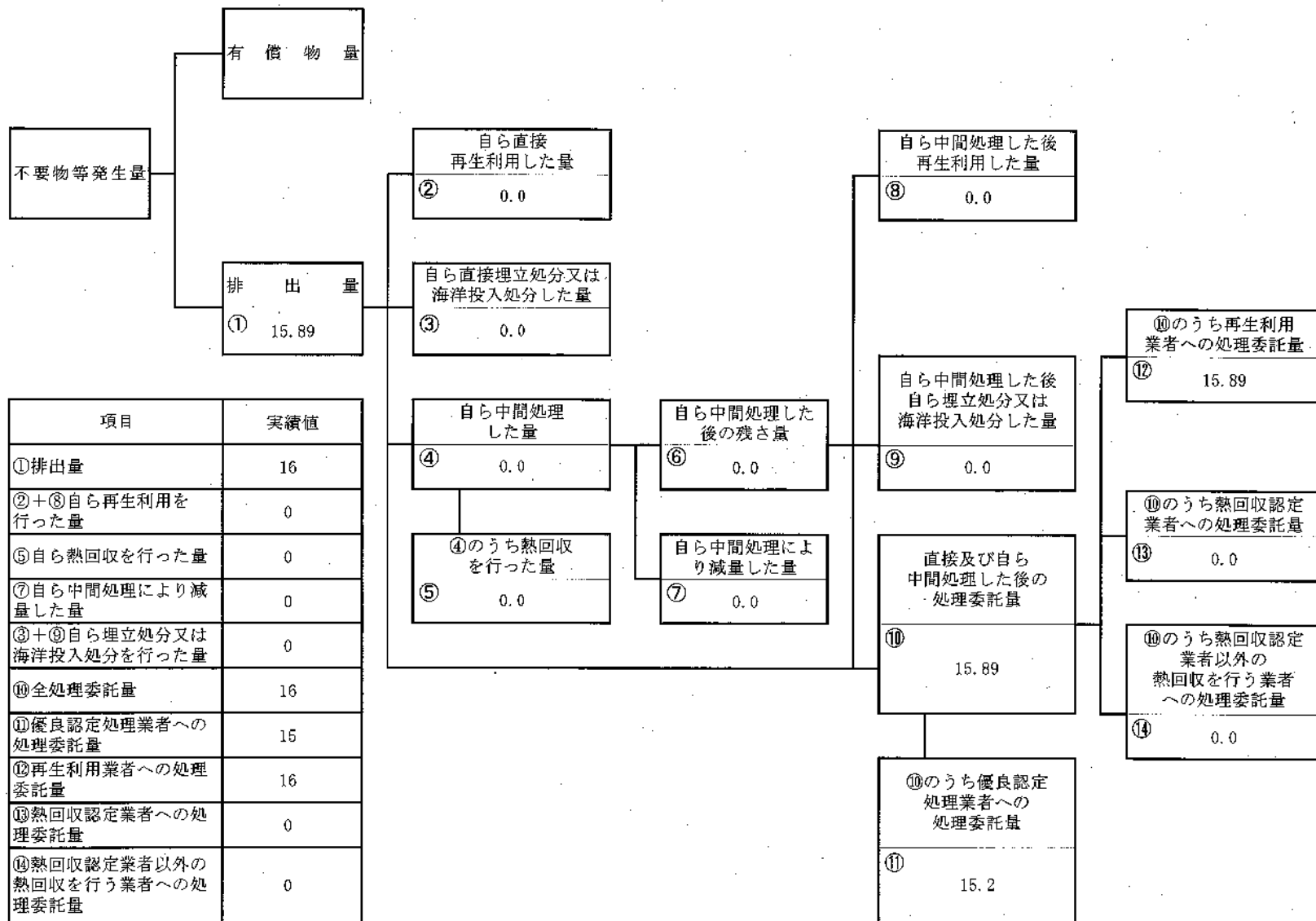
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



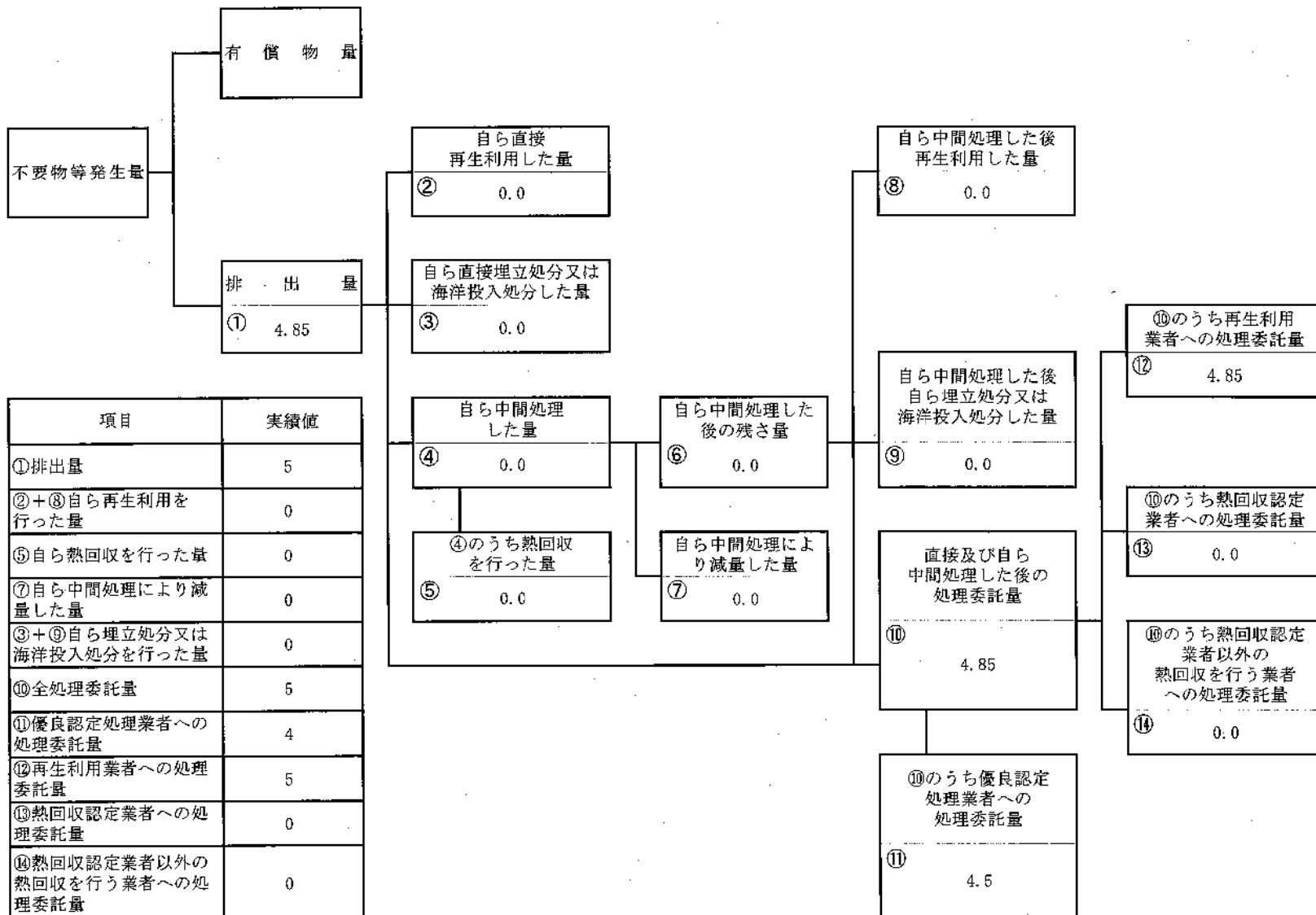
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



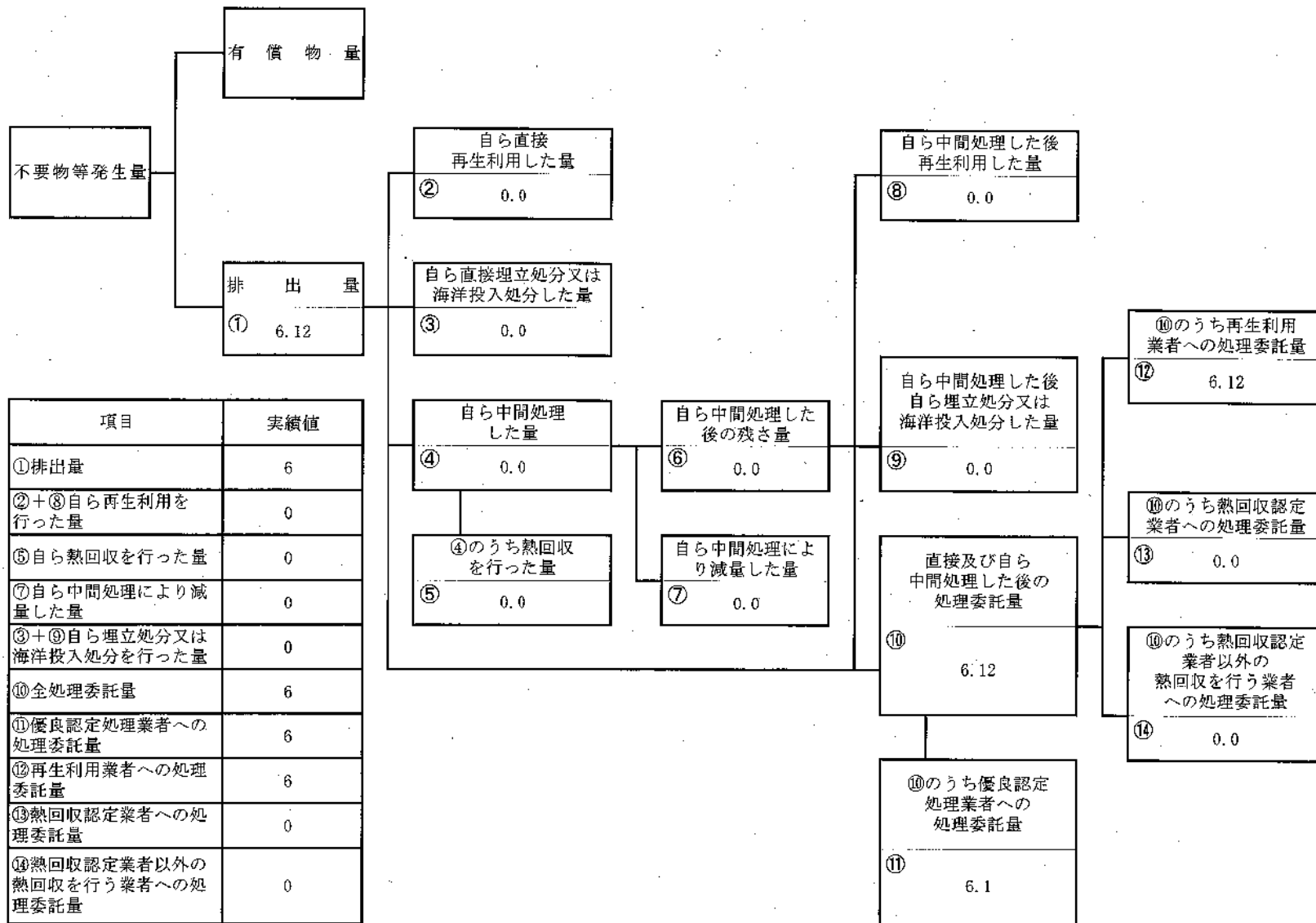
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,773人	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (岐阜市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	全社売上高: 25,775億円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		汚泥	汚泥	汚泥	廃油	廃油
項目		排水処理スラッジ	表面処理スラッジ	乾燥汚泥	廃油 (車輛採取)	廃油 パラフィン
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	9.5	6.8	6,870.5	53.2	0.0
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	9.5	6.8	6,870.5	53.2	0.0
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	6,870.5	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	6,245.9	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残量 (t/年)	0.0	0.0	624.6	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	624.6	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	9.5	6.8	0.0	53.2	0.0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	9.5	6.8	624.6	53.2	0.0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.0	4.2	584.2	48.1	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	3.7	494.2	42.8	0.0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.5	90.0	5.3	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0.0	0.5	90.0	5.3	0.0
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.0	3.7	6,740.1	42.8	0.0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,773人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	全社売上高 25,775億円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	廃油	廃プラスチック類	廃プラスチック類	廃プラスチック類	廃プラスチック類
		清掃廃油	廃プラスチック類 硬質・軟質	廃プラスチック類 フィルム	廃プラスチック類	廃プラスチック類 塗料カス
前年度計画の実施状況 (28年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	10.2	49.43	9.95	246.45	237.40
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	10.2	49.43	9.95	246.45	237.40
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	10.2	49.43	10.0	246.45	237.4
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	10.2	49.43	10.0	246.45	237.4
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	243.06	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	8.4	46.6	11.2	246.5	239.8
	処理方法	A・B・C・D E (油水分離)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	40.0	10.6	224.3	203.8
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	8.4	6.5	0.6	22.2	36.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	8.4	6.5	0.6	22.2	36.0
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.0	40.0	10.6	224.3	203.8
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
----	----	----	----	----

事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数（人）	2,773人	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）		建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	（電 話）0566-36-8847 （FAX）0566-36-6190 （E-mail）	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	全社売上高： 25,775億円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	廃プラスチック類 塗料カス(泥状)	廃プラスチック類 廃ウレタン	廃アルカリ 廃アルカリ等	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず 蛍光灯(水銀使用 製品含む)	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず ガラスくず他
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	583.2	85.6	0.2	0.6	5.4
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	494.4	84.7	0.0	0.4	4.5
	処理方法	A・B・C・D E (混練)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.0	72.9	0.0	0.0	3.8
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	494.4	11.9	0.0	0.4	0.7
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	494.4	11.9	0.0	0.4	0.7
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0.0	72.9	0.0	0.0	3.8
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他(具体的に記載)
3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他(具体的に記載)
4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。
5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 4/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数 (人)	2,773人	前年度の3月31日現在の従業者数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。

記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完 成工事高(万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工 事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品 出荷額(万円/年)	全社売上高: 25,775億円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	金属くず	金属くず	汚泥	廃酸
		木くず	乾電池(水銀使用 製品含む)	金属複合材	ビット・槽汚泥	化成液等
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	b 有償物量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	4.6	0.2	13.7	102.7	202.3
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	6.1	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	4.6	0.1	15.8	111.5	222.1
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E (選別・破碎)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.0	0.0	6.6	94.3	199.89
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	4.6	0.1	9.1	17.2	22.21
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	4.6	0.1	9.1	17.2	22.21
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.0	0.0	6.6	94.3	199.89
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他(具体的に記載)
3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他(具体的に記載)
4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。
5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 5/5)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	トヨタ車体株式会社 吉原工場	従業員数(人)	2,773人	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	プラント環境生技部 環境推進室 室長 山田和宏	当該事業所の元請完 成工事高(万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工 事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。

連絡先	(電 話) 0566-36-8847 (FAX) 0566-36-6190 (E-mail)	当該事業所の製造品 出荷額 (万円/年)	全社売上高: 25,775億円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。
-----	--	-------------------------	--------------------	---

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	廃酸 廃鹼等	汚泥 ろ過砂	廃油 ED塗料等	廃プラスチック類 廃ゴム等	汚泥 土砂等
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.2	1.4
	b 有償物量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)				0.2	
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)				0.0	
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)				0.0	
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)				0.2	
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)				0.2	
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.0	0.0	52.7	0.3	1.4
	処理方法	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E (油水分離)	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	52.7	0.0	0.7
	再生利用用途	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E ()	(A)・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海 洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)				0.0	
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)				0.3	
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)				0.0	

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。